

ふじみ野市って こんなところ

ふじみ野市は、上福岡市と大井町の合併により平成17年に誕生しました。

都心から30km圏内の埼玉県南西部に位置し、市内東部には国道254号（川越街道）、東武東上線がそれぞれ南北に貫いています。

首都圏に位置しながらも、川や緑の豊かな自然が残り、最先端技術を有する製造業や交通の利便性を活かした物流業、近郊農業などが発展し、住みよいまちとして成長を続けています。

江戸と川越間の要衝であったふじみ野市

かつて物資の積み出しで大変な賑わいを見せた、川越と江戸を結ぶ新河岸川舟運の船着場であった福岡河岸。その河岸で栄えた回漕



江戸と川越を結ぶ舟業で繁栄した回漕問屋福田屋

問屋の一つ福田屋を「福岡河岸記念館」として公開しています。



大規模軍事工場の中心であったふじみ野市

1937（昭和12）年から1945（昭和20）年の太平洋戦争の終戦まで、現在の市役所のある周辺福岡1・2丁目から上野台団地一帯には陸軍弾薬工場の造兵廠（通称：火工廠・かこうしょう）がありました。工場面積は、約54万5,000㎡におよびます。

最大700棟の建物のうち、危険物を取り扱う建物の周囲には、爆発しても周囲に影響を与えないよう厚いコンクリートの壁がつくられ、弾薬倉庫の周囲にも高い土塁が築かれていました。ここでは、約5千人の従業員が機関銃弾、爆弾などを製造していました。



防爆壁と土塁に囲まれた工場と倉庫

大規模工場を設置する程、地盤が強く、物流の要であったことが分かります。



ふじみん